

再エネ出力制御の実施に関する

よくあるご質問

目次

<共通>	2
Q 1 なぜ出力制御が必要なのですか。	2
Q 2 出力制御はどのように指示されるのですか。	2
Q 3 具体的な出力制御の流れはどうなっているのですか。	2
Q 4 システムトラブル等で出力制御に応じられなかった場合は、どうなるのですか。	3
Q 5 どういう場合に出力制御を行う可能性があるのですか。	3
Q 6 出力制御指示が出たが、他エリアへの送電をもっと増やせなかったのですか。【出力制御が実施された場合】	3
Q 7 出力制御の予定や、実施状況はどこを見れば確認できますか。	3
Q 8 出力制御されたことを再エネ事業者はどのようにして知るのですか。	3
Q 9 出力制御システムのログインIDやパスワードがわかりません。	4
Q 10 出力制御の連絡用に登録された電話番号やメールアドレスは変更できますか。	4
Q 11 なぜGWのような休日（土曜、日曜、祝日）に出力制御を行うのですか。	4
Q 12 出力制御の頻度はどのくらいですか。	4
Q 13 出力制御を行った場合、補償はあるのですか。	4
Q 14 出力制御は公平に実施されるのですか。	5
Q 15 出力制御する発電所はどのように選択しているのですか。	5
<オフライン事業者さま>	5
Q 16 出力制御指示を前日より早くできないのですか。	5
Q 17 出力制御実施後、結果報告は必要ですか。	5
Q 18 出力制御指示メールに記載された出力制御時間帯で発電してしまった場合、どうなりますか。	5
<オンライン事業者さま>	6
Q 19 出力制御に関するメールが届きましたが、なにか対応が必要ですか。	6
Q 20 出力制御される時間帯はいつですか。	6
Q 21 出力制御に対応するにあたり注意すべき点はありますか。	6
Q 22 オンライン代理制御を実施した場合、補償されるのですか。	6

再エネ出力制御の実施に関するよくあるご質問

<共通>

Q 1 なぜ出力制御が必要なのですか。

電気は、消費（需要）と発電（供給）が同時に行われるため、これらを常に一致させる必要があります。需要が少ない時期などでは、供給が余剰状態となるため、余剰分を出力制御する必要があります。需要と供給のバランスが崩れると、電気を安定してお届けすることが困難となり、最悪の場合、北陸エリア全体が停電してしまう可能性があります。

当社としては、火力発電の出力抑制や揚水発電所の揚水運転、また、地域間連系線の活用（他エリアへの送電）等により、最大限、需給バランスの維持に努めておりますが、それでもなお供給力がエリア需要を上回る場合には、再エネの出力制御が必要となることから、ご理解・ご協力をお願いします。

Q 2 出力制御はどのように指示されるのですか。

オフライン事業者さまは、発電所で手動による発電停止等の実対応が必要となることから、時間的猶予を考慮し、前日 17 時頃までに、当社出力制御システムから電話・メールにて出力制御指示を実施します。

オンライン事業者さまは、自動で出力抑制できることから、抑制当日の実需給 2 時間前の最新の気象予報等を踏まえた、より精度の高い需給バランス想定に基づき、必要最小限の出力制御指示を随時実施します。

Q 3 具体的な出力制御の流れはどうなっているのですか。

出力制御は、優先給電ルール（国の定めたルール）に従い実施することになります。

需要予測や再エネ出力予測に基づき、火力発電の出力抑制や揚水運転の実施、連系線の活用（他エリアへの送電）を行っても、電気の供給量がエリア需要量を上回ることが見込まれた場合、再エネの出力制御指示を行います。

オフライン事業者さまは、発電所で手動による発電停止等の実対応が必要となることから、時間的猶予を考慮し、前日 17 時頃までに、当社出力制御システムから電話・メールにて出力制御指示を実施します。

オンライン事業者さまは、自動で出力抑制できることから、抑制当日の実需給 2 時間前の最新の気象予報等を踏まえた、より精度の高い需給バランス想定に基づき、必要最小限の出力制御指示を随時実施します。

なお、具体的な出力制御の流れについては、以下、当社 HP の「再生可能エネルギーの出力制御に係る運用の基本的な考え方（PDF）」に掲載していますのでご覧ください。

https://www.rikuden.co.jp/nw_koteikaitori/re_seigyo.html

Q 4 システムトラブル等で出力制御に応じられなかった場合は、どうなるのですか。

次回の出力制御時に優先的に出力制御指示させていただくことになります。

Q 5 どういう場合に出力制御を行う可能性があるのですか。

電力の需要量は、季節や気象状況、時間帯によって大きな差がありますが、冷暖房等の需要が少なくなる春季などにおいて、「降雨による水力発電所の出力増」や「晴天による太陽光発電の高稼働」などのリスク状況が重なり、さらに「地域間連系線を活用した他エリアへの送電」が十分に活用できないような場合に、再エネの出力制御を行う可能性があります。

当社としては、再エネの出力制御を回避するために最大限、需給バランスの維持に努めてまいります。それでもなお供給力がエリア需要を上回る場合には、再エネの出力制御が必要となることから、ご理解・ご協力をお願いします。

Q 6 出力制御指示が出たが、他エリアへの送電をもっと増やせなかったのですか。【出力制御が実施された場合】

他エリアの受電可能量が少なく、当社が必要とする送電希望量を確保することができませんでした。

Q 7 出力制御の予定や、実施状況はどこを見れば確認できますか。

当社のHPにて、出力制御の見通し、実施結果を公開しております。

掲載箇所は「北陸エリアでんき予報」の「再生可能エネルギー出力制御見通し」です。なお、出力制御予定の有無は、毎日17時頃に更新されてHPに掲載されます。

<https://www.rikuden.co.jp/nw/denki-yoho/index.html>

Q 8 出力制御されたことを再エネ事業者はどのようにして知るのですか。

出力制御対象となる太陽光・風力の発電事業者さまは、出力制御に係る手続きの際に示した発電所IDとパスワードを用いて、当社の出力制御システムにログインいただくことで、事業者マイページにて出力制御に関する詳細な情報が確認可能となっています。

また、以下、当社HPに事業者マイページの使用方法を記載した「事業者マイページ操作マニュアル」が掲載されていますのでご覧ください。

https://www.rikuden.co.jp/nw_koteikaitori/re_seigyo.html

(参考)

- ・事業者マイページでは、出力制御指令の指示内容や実績が確認できます。
- ・オンライン事業者さまが出力制御時のメールでの前日連絡を希望する場合は、事業者マイページから連絡要否の設定を行うことができます。

Q 9 出力制御システムのログインIDやパスワードがわかりません。

当社からお渡ししております「出力制御機能付 PCS 用「発電所 ID」の発行等について（お知らせ）」、または「出力制御機システムマイページ用『発電所 ID』の発行等について（お知らせ）」に「発電所 ID」と「初期パスワード」が記載されておりますので、ご確認ください。

パスワードをお忘れの場合は、出力制御システムの事業者マイページ（WEB）の「パスワードを忘れた場合」から再発行可能です。ただし、発電所 ID と本システムにご登録いただいている電話番号・メールアドレスが必要となります。

パスワードをお忘れの場合で、発電所 ID ・電話番号が共に分からない又はメールアドレスを登録されていない場合は、後日、書面にて通知しますので、当社のネットワークサービスセンターへお問合せください。

https://www.rikuden.co.jp/nw_nsc/

Q 1 0 出力制御の連絡用に登録された電話番号やメールアドレスは変更できますか。

Q8 のご回答に記載のとおり、当社の出力制御システムにログインしていただくことで、事業者マイページにて登録内容を確認・変更することができます。ただし、オンライン代理制御対象のオフライン事業者さまは除きます。

オンライン代理制御の詳細については、資源エネルギー庁ホームページ「なるほど！グリッド」をご覧ください。

Q 1 1 なぜ GW のような休日（土曜、日曜、祝日）に出力制御を行うのですか。

電力の需要量は、季節や気象状況、時間帯によって大きな差がありますが、冷暖房等の需要が少なくなる GW のような休日は、特に電力需要が少なく、また、雪解け水による水力発電所の出力増や、晴天による太陽光の高稼働が重なることで、出力制御が必要となる可能性が高まるためです。

Q 1 2 出力制御の頻度はどのくらいですか。

需要動向や気象状況、発電設備の運転状況等によるため、一概に示すことはできません。

Q 1 3 出力制御を行った場合、補償はあるのですか。

発電事業者さまには、適用される出力制御ルールに応じて、無補償での出力制御上限（旧ルール：30 日、新ルール：360 時間(太陽光)、720 時間(風力)、無制限・無補償ルール：無制限）が設定されており、補償が生じない範囲で出力制御を行っていくこととなります。

Q 1 4 出力制御は公平に実施されるのですか。

国が定める「出力制御の公平性の確保に係る指針」に基づき、どの発電事業者さまも年度単位の出力制御の機会が均等になるよう順番に出力制御を実施します。

Q 1 5 出力制御する発電所はどのように選択しているのですか。

出力制御を実施する発電所の選定は、国が定める「出力制御の公平性の確保に係る指針」に基づき、出力制御機会が公平、かつ必要な制御量を満足するよう、当社の出力制御システムにより自動的に行われます。

<オフライン事業者さま>

Q 1 6 出力制御指示を前日より早くできないのですか。

出力制御量を必要最小限とするため、エリア需要予測や再エネ出力予測をより精度高く行う必要があることから、出力制御の必要量を前日に算定しております。

このため、出力制御指示の前倒しや個別に出力制御の見通しをお知らせすることは困難です。

Q 1 7 出力制御実施後、結果報告は必要ですか。

出力制御実施日以降に当社で実施有無を確認いたしますので基本的には不要です。

ただし、給電申合書や連系に関する運用申合せ事項に基づき当社から出力制御対象日の運転実績等のデータ提供を求める場合がありますので、その際には速やかにご提出をお願いします。

Q 1 8 出力制御指示メールに記載された出力制御時間帯で発電してしまった場合、どうなりますか。

出力制御は安定供給確保に必要な措置であり、メールに記載の出力制御時間（例：8時～16時）において必ず出力制御していただく必要があります。しかし、その時間帯に発電が確認された場合、その日は出力制御に応じていただけなかったものとして取り扱います。

なお、当社では発電事業者さまの売電機会損失の低減や、現地に出向く手間を省き出力制御を確実にできるよう、オンライン化を推奨しております。

<オンライン事業者さま>

Q 1 9 出力制御に関するメールが届きましたが、なにか対応が必要ですか。

オンライン事業者さまのうち、出力制御時のメールでの前日連絡を希望された発電事業者さまには、出力制御の実施前日にメールを配信しています。

オンライン事業者さまの出力制御は、配信した制御スケジュールに基づき出力制御機能付PCSが自動で発電量を制御するため、発電事業者さまの対応（現地での発電停止）は基本的に不要です。

Q 2 0 出力制御される時間帯はいつですか。

オンライン事業者さまへの出力制御は、当日の需給状況を踏まえるため、実需給の2時間前に出力制御の要否を判断します。

なお、出力制御が必要と判断した場合は、出力制御スケジュールを配信します。この制御スケジュールは、Q8のご回答に記載のとおり、当社の出力制御システムの事業者マイページにログインすることで、確認することが可能です。

Q 2 1 出力制御に対応するにあたり注意すべき点がありますか。

高低圧のオンライン事業者さまは、インターネット回線を使用して当社システムから受信する制御（更新）スケジュールにより出力制御を行いますので、インターネット回線が常時正常に接続されている必要があります。ネットワーク機器のトラブル等で、正常に接続されていない場合、既に配信している固定スケジュールに従って運転されますので、ご注意ください。

なお、固定スケジュールは最新の気象予報等が反映できないため、更新スケジュールと比較して、発電電気量が少なくなる可能性が高くなりますので、日頃より通信状態を確認いただき、途絶している場合は早期の復旧をお願いします。また、毎年3月頃に配信する翌年度の固定スケジュールを取得できなかった場合、4月1日以降、発電停止することになりますので、ご注意ください。

Q 2 2 オンライン代理制御を実施した場合、補償されるのですか。

オフライン事業者さまが本来行うべき出力制御をオンライン事業者さまが代わりに実施した場合、法令上は、オフライン事業者さまが出力制御を行い、オンライン事業者さまが発電を行ったものとみなして、オンライン事業者さまが自身の発電設備に適用されている買取価格で対価を受けることができます。

詳しくは、資源エネルギー庁ホームページ「なるほど！グリッド」をご覧ください。

以上